

「自立促す

支援必要」

NGO、婦国会見

津波ニアパ

「二次的被害が少なかつ

たのは森のおかげ。今後は被災者の自立を促す支援が必要だ」。パプアニューギニアの津波による被災者救援のために現地を訪れていた非政府組織（NGO）曰

本国際ボランティアセンタ

ー（JVC）のメンバー帰国し、一日、記者会見で話した。

同国北西部で発生した月十七日の津波では、これまで死者二千人以上、災者九千人以上が確認されており、今後さらに増え見込みだ。

JVCの倉川秀明さ（四四）ら三人は、二十六日現地入り。約五十戸すべが流されて柱しか残っていない集落などを目にした

いう。被災地は自然が豊かでヤシなどを地元で確保することができたため、食や伝染病などの二次的被害は、最小限にとどまっているという。救援物資も近の街まで届いている。

日本のNGOはアジア師連絡協議会（AMDA）が被災者の診療にあたるほか、数団体が義援を募集している。